

北上認知症セミナー～多職種で支える認知症～

主催：北上医師会、武田薬品工業株式会社、株式会社バイタルネット、ヤンセンファーマ株式会社

10月19日、ホテルシティプラザ北上にて、きたかみ認知症セミナーが開催され79名の方が参加しました。医療法人糖友会金子胃腸科内科院長金子博純医師の講演会「認知症の早期発見と連携について」では盛岡地域での取り組みについて認知症支援ネットワークの開設など医療介護に結び付くまで継続支援している事や中高生とその父母を対象に認知症サポーター研修や物忘れ健診などの取り組みを行っていることが話されました。

その後田郷医院院長、田郷英昭医師が事例提供をして多職種による事例検討グループディスカッションを行いました。事例を元に13グループが過去の問題点は何か当面の課題はどう対応したらよいか長期的課題はどうするか検討し合い医療介護の立場から活発な意見が出されていました。また「北上市認知症安心ガイド」についても説明がありました。



第3回ケアラボ@きたかみ（多職種による事例検討会）

主催：北上市・北上市地域包括支援センター主任介護支援専門員部会・北上市在宅医療介護連携支援センター

10月19日、北上市総合福祉センターにて、ケアラボ@きたかみ（多職種によるケアマネ支援の事例検討会）を開催しました。3回目となる今回は、特別養護老人ホーム八天の里、田鎖健さんに事例提供を行っていただきました。また、県の事業を活用しコメンテーターに弁護士を迎え、ご本人の願いに寄り添った支援はどこまでできるのか、地域でどのような支援ができるか、多職種による検討を行いました。総勢70名の参加者が、それぞれの職種の視点に立って様々な意見を交わしました。

次回は12月21日（木）、北上市総合福祉センターを会場に開催されます。ファースト調剤薬局伊藤貴文さん・ケアマネステーション安寿泉より子さんに「認知症で薬を飲みすぎる、サービスは拒否の事例」を提供していただく予定です。申込み、問い合わせは北上市在宅医療介護連携支援センターまでお願いいたします。

平成29年度第1回3病院連絡会を開催

主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

10月25日、岩手県立中部病院にて平成29年度第1回3病院連絡会を開催しました。この3病院連絡会は県立中部病院・花北病院・北上済生会病院のソーシャルワーカー・退院支援看護師が定期的に集まり、相互理解、情報共有、援助スキルの向上を図る場、病院間連携の場を目的として平成29年3月にスタートしました。今回は、地域包括支援センター、北上地区ケアマネジャー連絡協議会の方々にも参加

していただき、包括支援センターの役割、ケアマネジャーの役割についてお話をいただきました。その後「患者・家族の意向に沿った入退院支援のあり方」をテーマに、「自分はどんな入退院支援を行いたいのか」「支援を行うときに妨げとなっていることはないか」グループによる意見交換を行いました。39名の方に参加していただきました。今年度2回目となる連絡会は3月に開催予定です。詳細が決まり次第お知らせいたします。



平成 29 年度口腔ケア従事者研修会

主催：岩手県立中央病院、岩手県立中部保健所 共催：花巻歯科医師会、北上歯科医師会、遠野歯科医師会

10月30日、岩手県立中部病院にて平成29年度口腔ケア従事者研修会が行われました。高齢者の口腔機能維持向上について多職種が連携し推進することを目的として要支援・要介護の高齢者の口腔機能維持管理及び口腔ケアに関する正しい知識を学んでいました。内容は以下の通りです。

- 「介護支援専門員に対する高齢者の口腔・栄養に関するアンケート調査結果の説明」 中部保健所
- 「高齢者の口腔と栄養の介護サービスについて」
常盤台居宅介護支援事業所管理者兼介護支援専門員
高橋恒信氏
- 「在宅歯科診療の取り組みについて」
むらさきの歯科医院院長松生達氏
- 「訪問歯科診療の流れ」
むらさきの歯科医院歯科衛生士那須麻知子氏



平成 29 年度北上医師会市民公開講座

超高齢社会をどう生き抜くか～後悔しない人生の終い方・逝き方のために～

主催：北上医師会 共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

11月4日、【游・YOU 学園】北上市生涯学習センター第1・3学習室にて県立江刺病院院長、川村秀司医師をお迎えして講演会が開催されました。現在、医療界で起きていることから高齢社会に向けて考えておかなければならないことについてお話しされました。

「老いや死について考えておいたり、自分がどうしたいか家族と心構えしておくことなど、いざという時のために準備しておく必要があります。そして少しでも自立した生活期間がおくれるようにすること。そのために生ききるための5か条として①意欲を持って②自立せよ③努力せよ④本気で生きよ⑤覚悟も必要。自らの「死生観」を持って」とお話しされました。本人や家族が突然、病気や介護が必要になったときどうしたいか考えさせられる内容でした。



第3回きたかみ生活相談員連携会

主催：きたかみ生活相談員連絡実行委員 共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

11月17日、北上済生会病院大会議室において、きたかみ生活相談員連携会が開催されました。今回は困難ケースの検討や多職種連携についてのグループワークを行われました。参加者は19名でしたが参加者アンケートでは、「他事業所の話が聞けて参考になる、同じ悩みを抱えている、今後は多職種連携について事例を通して学びたい」などたくさんの意見を頂きました。次回開催は2月を予定しております。詳細が決まり次第ご案内いたします。

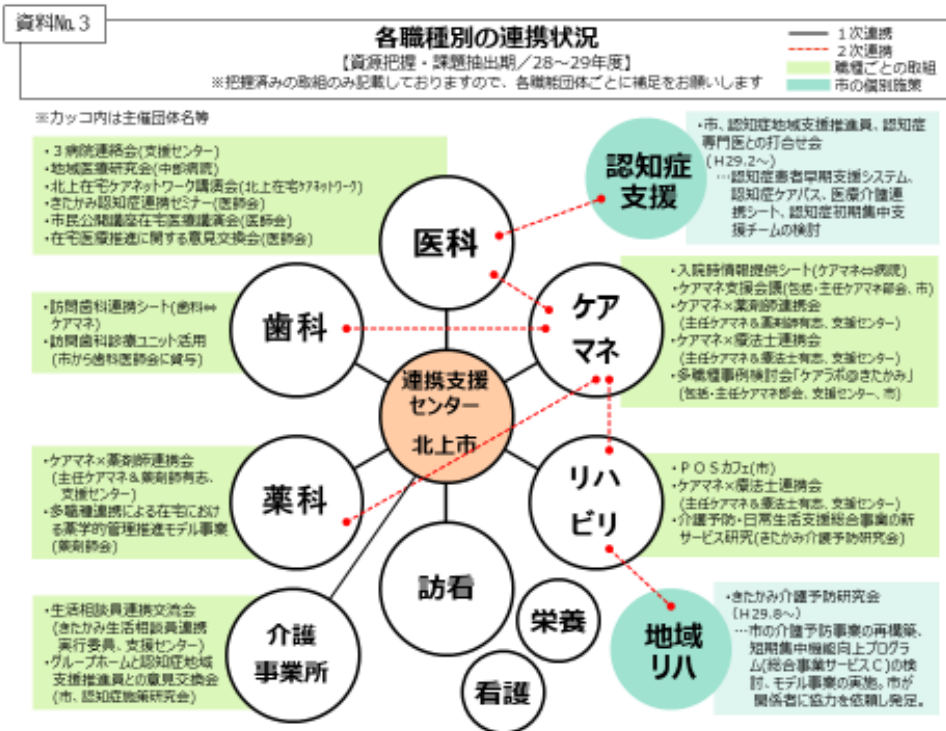


平成 29 年度第 2 回北上市在宅医療介護連携推進協議会

11 月 13 日、北上済生会病院にて第 2 回北上市在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。北上市及び北上市在宅医療介護連携支援センターより、上半期の事業実施状況の報告、各団体から取り組み状況報告が行いました。連携支援センターの相談件数が、平成 29 年 10 月末現在 90 件と、昨年 1 年間の相談件数 88 件をすでに上回っている事、昨年と比較して診療所や居宅介護支援事業所からの相談が増加、病気や診療等、終末期・看取り、レスパイト入院、生活困窮、に関する事、が主な相談内容であることを報告しました。各団体からの報告では、北上薬剤師会の多職種連携による在宅における薬学的管理モデル事業、歯科医師会の訪問歯科診療用ユニット（北上市より貸与）を活用した訪問歯科診療、療法士会より、8 月に

介護予防研究会を立ち上げし多職種による総合事業 C 型事業の検討を行っていることなどが報告されました。

事業が本格開始され 2 年目の下半期は「資源把握・課題抽出期」の終盤であり、平成 30 年度の「多職種連携向上・市民意識醸成期」に向けて、把握した現状からさらに課題の掘り下げを集中的に行い効果的な対策につなげていくこと、また、課題と特定されたものに関しては、できることから具体的な取り組みを行っていくことが示されました。



平成 29 年度岩手県在宅医療人材育成基盤整備事業

「患者の意向を尊重した意思決定支援のための研修会」

主催：北上医師会 共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

11 月 18 日、北上済生会病院大会議室にて、患者の意向を尊重した意思決定支援のための研修会がホームクリニックえんの千葉恭一医師、櫻井茂氏、高橋美保氏、杉田賢二氏を講師に開催され、保健・医療・介護・福祉の関係者 26 名が参加しました。人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインをもとに、臨床における倫理的判断を行う上でどのような内容についてどのように考えるべきかについて理解することや実践することが出来るようにグループワーク形式で学習しました。



平成 29 年度 岩手県在宅医療人材育成基盤整備事業「患者の意向を尊重した意思決定支援のための研修会」開催のご案内

対象：人生の最終段階における医療の決定プロセスの意思決定支援に関わる専門職

日時：第 2 回 平成 30 年 1 月 20 日(土)13:30～17:00 「アドバンス・ケア・プランニングの手順」

* グループワーク・ロールプレイを入れた実践的な研修です。

場所：北上済生会病院 大会議室 参加可能人数：30 名

主催：北上医師会 共催：北上市在宅医療介護支援センター

第2回幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会

～Sat Sail 編（学びと対話の旅～）～

主催：北上市・在宅医療介護連携支援センター

11月24日、市民と医療介護福祉専門職の顔の見える連携企画、『幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会』を開催し、32名が参加しました。第1回は10月に市民フォーラム（8月開催）参加者の有志を中心として行われました。第2回の今回も、コーディネーターの岩手県立中部病院・星野彰医師の進行で心づもりに必要な情報の提供とグループワークが行われました。情報提供のテーマは、“社会福祉士から伝える任意後見制度”で、参加された市民は、「こういった制度について知らなかった」と熱心に耳を傾け、医療専門職も「福祉の制度は知らないことがある」とそれぞれに学びを深めた様子でした。グループワークでは、「もしも自分が治らない病気になり、病状が進行したら誰とどこでどうやって過ごしたいか」について考えました。その後「自分の心づもりを大切な人に伝えるために必要なものは？北上に必要なしくみは？」というテーマで話し合い、「話すためのきっかけが欲しい」「死を学ぶ機会が必要」「地域の寄り合いでこんな話をみんなでしてみたい」など市民、医療介護福祉専門職それぞれの立場から多様な意見が出されました。

次回 第3回は2月に開催予定です。今後も学びと対話を通して“誰もが心づもりをしていくことができるしくみづくり”に取り組んでいきます。どなたでも参加が可能ですので、関心のある方は長寿介護課までお問い合わせください。

次回 第3回は2月に開催予定です。今後も学びと対話を通して“誰もが心づもりをしていくことができるしくみづくり”に取り組んでいきます。どなたでも参加が可能ですので、関心のある方は長寿介護課までお問い合わせください。



第1回心づもり勉強会の様子

いわて中部ネット稼働開始

いわて中部ネット（岩手中部地域医療情報ネットワークシステム）が10月に稼働を開始しました。○いわて中部ネットシステムとは？医療情報の提供に同意した利用者の受診歴や検査履歴・介護サービスの利用状況、薬の処方履歴などの情報をいわて中部ネットへ参加した医療・介護などの施設が一つのデータサーバに集約し共有するシステム。○事業スケジュール対象となる参加施設は、29年度中は病院・クリニック、30年度は歯科・薬局・訪問看護ステーション、31年度は介護施設・行政、と今後順次ネットワークを広げていく予定。将来的には県内全域での連携が期待されています。

編集後記：北上市在宅医療介護支援センターはホームページの立ち上げを準備しております。北上市の長寿介護課と「在宅きたかみ」というネームを使っていきたいと考えております。在宅医療介護連携に関する事で相談がありましたらご連絡ください。

発行：北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市花園町一丁目6-8

（北上済生会病院管理棟2階）

TEL：0197-88-3011

FAX：0197-88-3012

特別養護老人ホーム八天の里に北上市在宅医療介護連携支援センターの事業説明に行ってきました！要望があればいつでもご連絡いただければお伺いいたします。お気軽にご相談ください。

在宅きたかみ

北上市在宅医療介護連携支援センター